記入例

公立大学法人横浜市立大学における研究費の取扱いに関する規程　第１０号様式（第２８条）

平成〇〇年度　研究計画書　当初・変更（いずれかに〇）

民間機関等との共同研究、受託研究、奨学寄附金（いずれかに〇）

「プロジェクト番号：〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇」

研究者	所属：学術院　〇〇群 （国際総合科学群又は医学群） 職：教授 氏名：〇〇　〇〇	研究期間	契約締結日から 平成〇年〇月〇日まで（※） ※奨学寄附金は、研究費が納付された日からとする。終了日は研究終了予定日を記入。(研究遂行上、必要と認められる場合は、当該年度から 5 年を越えない範囲の年度末までの間で定められる。)
研究題目 （５０字以内）	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇に関する研究		
共同研究者/㈱・委託者/㈱・寄付者/㈱	株式会社〇〇〇〇〇〇〇〇〇		
研究経費 （受入額）	1,000,000　円　【間接経費　150,000　円】 ※間接経費(共同研究費・奨学寄附金は、受入額の 10%、受託研究費は受入額の 15%)		
直接経費	850,000　円		

直接経費費目別内訳			
	設備備品	円	・原則として税込み単価 10 万円以上、かつ使用期間が 1 年以上のものは、設備備品になります。 ・物品等で 1 件 100 万円以上のものを購入する場合は商品名と金額を記載してください(別紙も可)。 ・海外出張を予定している場合は、参考までに研究内容に記載してください。
	消耗品	450,000 円	
	国内旅費	300,000 円	
	外国旅費	円	
	謝金	100,000 円	
	その他	円	

【研究スケジュール】　※研究項目・方法等、期間を具体的に記入してください。

年度	研究項目・方法等	第１期 〇月～〇月	第２期 〇月～〇月	第３期 〇月～〇月	第４期 〇月～〇月
〇〇	①〇〇〇〇に関する解析 ②〇〇〇〇を用いた分析	←→ ① / ←②	①→ / ②→		
〇〇	①〇〇解析の同定 ②〇〇〇〇を用いた分析		←①, ←②	①→ / ②→	
〇〇	①〇〇を用いた詳細な機構解明 ②成果発表			←①	①→ / ←②→

【共同研究者】

所　属	職	氏　名
学術院　〇〇群　〇〇	〇〇	〇〇　〇〇
学術院　〇〇群　〇〇	〇〇	〇〇　〇〇

【研究・計画内容】　300 字を目安に記入してください。

〇〇。